
【JAPIC】ウィークリー・レポート【第22号】'10/02/18 発行

社団法人日本プロジェクト産業協議会（JAPIC）事務局

JAPIC 事務局より、毎週木曜日にウィークリー・レポートとして、活動報告と併せて委員会開催予定などをお届けします。

【今回のトピック】**◆ 森林再生事業化研究会 第6回 研究会を開催**

2月12日（金）、森林再生事業化研究会(主査 米田雅子慶應義塾大学教授)は、地方経済連合会（東北、中部、中国）、王子製紙(株)、日本製紙(株)、住友林業(株)など民間企業、学識者他69名にご出席いただき、第6回研究会を開催しました。

当日は、森林・林業に関する各省庁(林野庁、国土交通省、経済産業省)より、来年度予算状況(今年度補正予算も含む)をご説明いただきました。

その後、3月15日（月）の次世代林業サミット会議にて提言予定の『次世代林業システム(案)』について活発な討議を行いました。

◆ 長寿命型社会街区研究会 第5回 すまいエリアマネジメント推進部会を開催

2月9日（火）、省庁、地方公共団体、民間企業等から、35名の方々にご参加いただき、第5回すまいエリアマネジメント推進部会を開催しました。

同部会は、住宅地の価値を維持・向上し、持続可能なまち（街区）とするため、ハードからソフトにわたる事業手法について研究することを目的とした長寿命型社会街区研究会の分科会として、平成21年4月に活動開始し、住宅地におけるエリアマネジメントの普及・促進を目的として活動しています。

当日は、エリアマネジメントを活用した住宅団地の事例報告の第5弾として、住友林業(株)より「エバーガーデンプレイス武蔵藤沢（埼玉・入間市）」、三菱地所(株)より「泉パークタウン（宮城県・仙台市）」について、プレゼンテーションを頂きました。

前者は、NTT 社宅跡地をハウスメーカー5社の共同開発により、戸建住宅団地として再生され、“まちづくりガイドライン”に基づく街並み形成や、防犯カメラの設置など地域の自治会中心にまちの管理が行われています。後者は、計画立案から35年経過した長期プロジェクトで、住宅、商業・業務、サービス施設、学校等、ひとつのまちが形成されています。共有緑地による景観形成、色彩やデザインの統一感、住民が満足するサービスの追及等、住民が誇りに思う、まちづくりのために、長期に渡って挑戦するまちづくりへの意気込みが感じられました。

次回は3月17日（水）に、今年度活動のとりまとめを予定しています。

以上